費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,286,456,590	①運営費交付金収益化額 （業務費　1,197,118,333円　一般管理費　89,338,257円） ②資産見返運営費交付金額 （工具器具備品　26,231,310円　ソフトウエア　211,825,066円）
	資産見返運営費交付金	238,056,376	
	資本剰余金	0	
	計	1,524,512,966	
会計基準第80第3項による振替額		0	
計		1,524,512,966	

③21年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内容
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	12,159,873,918	①運営費交付金収益化額 （リース資産分　1,483,095,680円　業務費　9,533,839,687円　一般管理費　1,142,938,551円） ②資産見返運営費交付金額 （機械装置　40,229,918円　工具器具備品　17,787,073円　ソフトウエア　237,861,666円） ③資本剰余金額 （敷金　385,847円）
	資産見返運営費交付金	295,878,657	
	資本剰余金	385,847	
	計	12,456,138,422	
会計基準第80第3項による振替額		0	
計		12,456,138,422	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化の計画
19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	
	費用進行基準を採用した業務に係る分	1,496,494,488	運営費交付金債務残高の発生理由は、年度を跨いだ契約済繰越及び入札差額が生じたことによる経費の減少により、翌事業年度以降に繰り越したもの。
	計	1,496,494,488	